



飛鶴の森林から

第61号

当ふれあいセンターは、国有林をフィールドとして北海道の多様な自然との共生に向けた自然再生活動に取り組む NPO 等の活動支援、森林環境教育等に携わる教育関係者の支援・技術指導等を行っています。

野生動物生息調査

雷別自然再生事業地における
野生動物自動撮影調査結果

当ふれあいセンターでは、雷別地区自然再生事業地において12月6日～12月21日までの間（予備調査）と2月2日～2月23日までの間（本調査）で自動撮影カメラ6台により野生動物撮影調査を実施しました。

12月の調査では、エゾシカ、ウサギ、エゾタヌキ、キツネが撮影されていましたが、2月の調査ではキタキツネ、ウサギが撮影され、エゾシカ、やエゾタヌキの姿が撮影されていません。

12月調査時撮影分（一部）



12月6日 23:21 撮影：エゾタヌキ



12月8日 5:13 撮影：エゾシカ



12月13日 4:17 撮影：ウサギ

2月調査時撮影分（一部）



Stealth Cam 02/09/2012 15:21:43 033F

2月9日 15:21 撮影：キタキツネ



2012-02-12 6:28:14 PM M 1/1 40 -11°C
HCG00 COVER
2月12日 18:28 撮影：ウサギ

自動撮影カメラ調査結果集計表（調査期間中に撮影された写真の枚数）

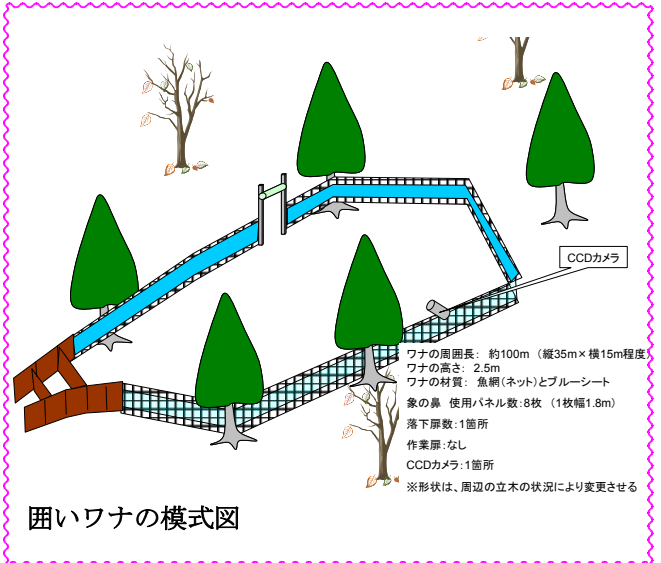
	エゾシカ	キタキツネ	エゾタヌキ	ウサギ	不明	計
23年12月調査	19	4	3	3	3	32
24年2月調査	0	1	0	2	1	4

エゾシカ生体捕獲事業（囲いワナ）視察

3月2日（金）、根釧西部森林管理署管内の国有林に設置されているエゾシカ囲いワナの視察を行いました。

近年エゾシカによる農林業被害が増大していることから、北海道森林管理局ではエゾシカ対策として、効率的な駆除や狩猟に役立つ林道の除雪、狩猟禁止区域の縮減、エゾシカの全道的な影響調査などに取り組んできました。特に、根釧西部森林管理署管内では、平成21年度から白糠町の国有林で自ら囲いワナを設置するなど、積極的な取り組みを進めています。

今年度、釧路西部森林管理署では釧路市阿寒町の国有林に囲いワナを設置して、周囲のエゾシカの個体数を減らすための捕獲を実施しています。囲いワナは、まリモ国道から国有林林道に入った場所に設置しており、捕獲による地域個体数の減少、生体捕獲によるシカ肉の有効利用などが期待されているものです。囲いワナは1月下旬から設置されていますが、エゾシカの警戒心が強いためか、この日まで捕獲がありませんでした。ワナの近くまでの足跡が確認されていることから、今後の捕獲が期待されているところです。



捕獲したエゾシカの搬出口 ↑



捕獲するための誘導口 ↑



エゾシカの気持ちで囲いワナの中を歩く ↑



囲いワナの近くにあるエゾシカの跡 ↑



2011・国際森林年

釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター

〒085-0825 釧路市千歳町6-11

TEL 0154-44-0533

FAX 0154-41-7305

URL http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html

E-mail h_kusiro_f@rinya.maff.go.jp